

USBデバイス接続制御アダプター

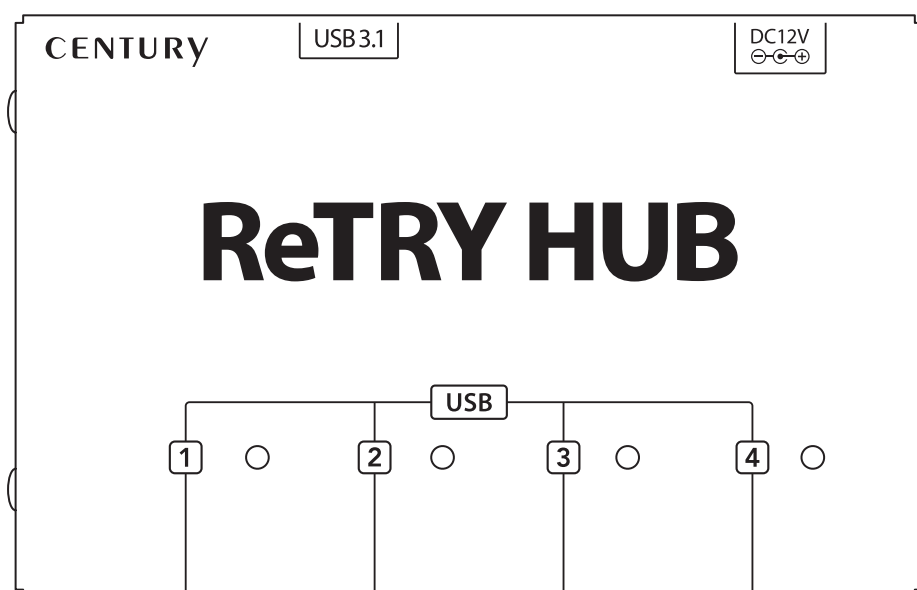
# ReTRY HUB

型番 CT-USB4HUB

---

## 設定ソフト Ver1.0版 マニュアル

---



株式会社 センチュリー



<http://www.centech.jp>

2017/04/21

## 製品仕様

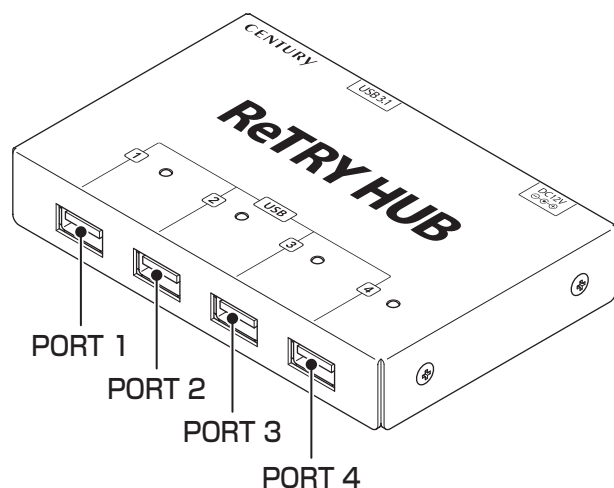
商品名	ReTRY HUB
型番	CT-USB4HUB
サイズ	縦75mm x 横120mm x 高さ15mm(突起部含まず)
重量	約230g(本体のみ)
消費電流	12V 30mA(本体のみ)
USBポート数	4
各ポート出力	5V 最大900mA
動作環境	USB2.0 / USB3.1(※)規格に対応したホスト機器及びデバイス機器 ※USB3.1 Gen1のため、転送速度は最大5Gbpsとなります。
対応OS	Windows10 / Windows 8.1 / Windows 7 (製品の性質上、全ての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。)

## 製品内容

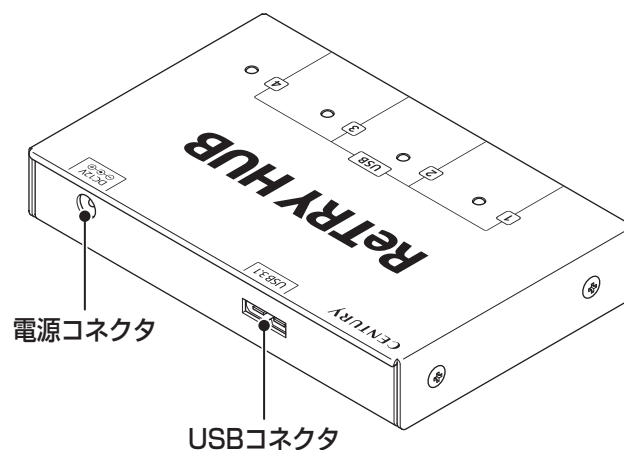
- ☐ ReTRY HUB 本体
- ☐ ACアダプター(12V 2A)
- ☐ USB3.0ケーブル(約1m)
- ☐ 注意説明書 兼 保証書

## 各部の名称

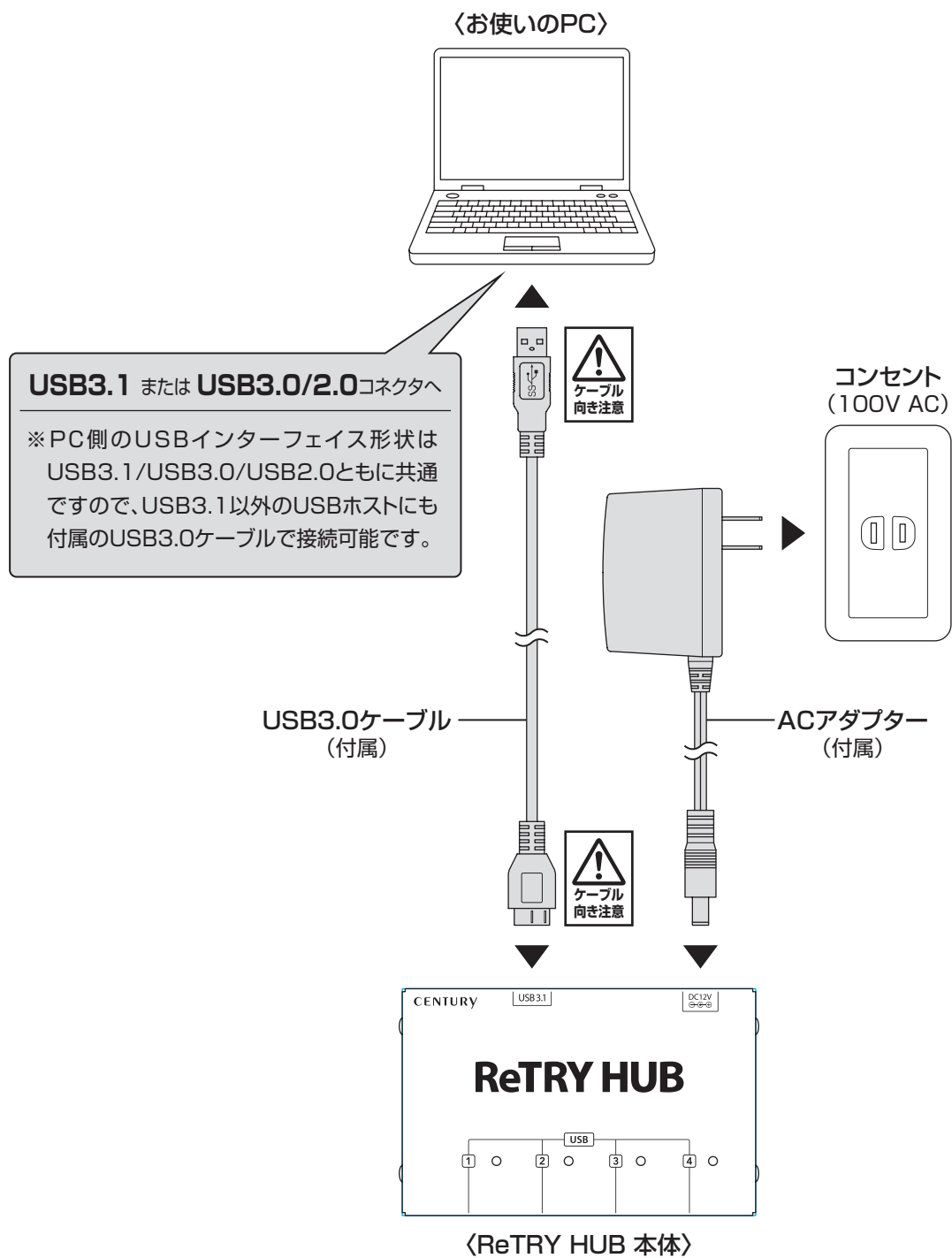
### ■デバイス側



### ■ホストPC側



## 0 接続

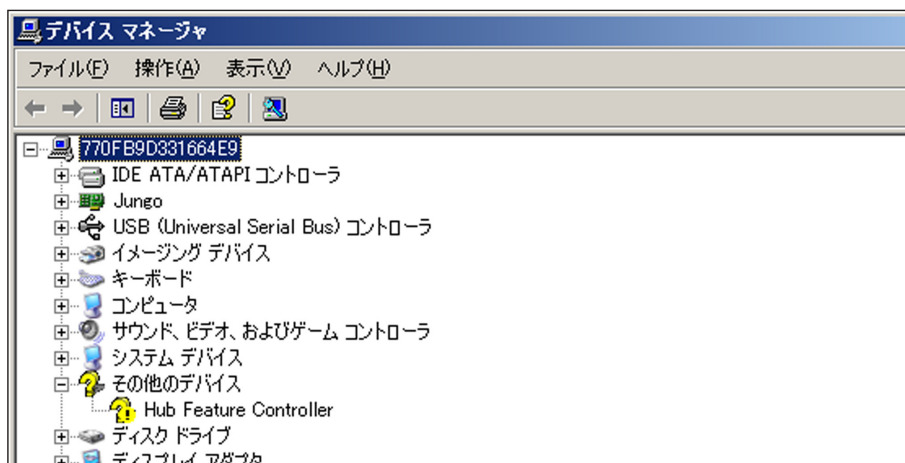


※注)この時点ではドライバが入っていないため正しく認識されません。

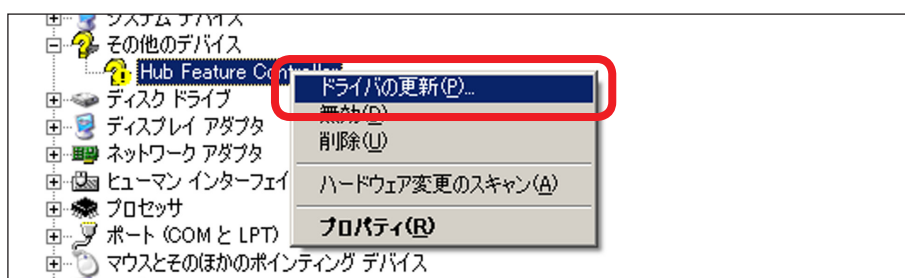
# 1 ドライバインストール

- 1 下記URLよりドライバ「pt2\_v1.8.zip」をダウンロードします。  
[URL] [http://www.microchip.com/SWLibraryWeb/producttc.aspx?product=Protouch2\\_V1\\_8](http://www.microchip.com/SWLibraryWeb/producttc.aspx?product=Protouch2_V1_8)  
ダウンロードが完了したら「pt2\_v1.8.zip」を展開します。

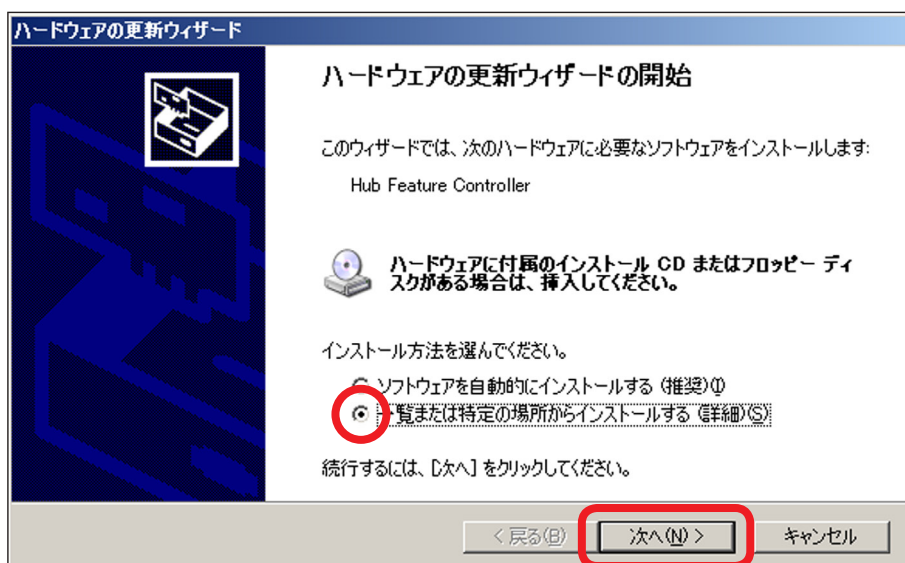
- 2 デバイス マネージャを開きます。



エラーの出ているデバイス(USB4HUB)を右クリックし「ドライバの更新」を選びます。



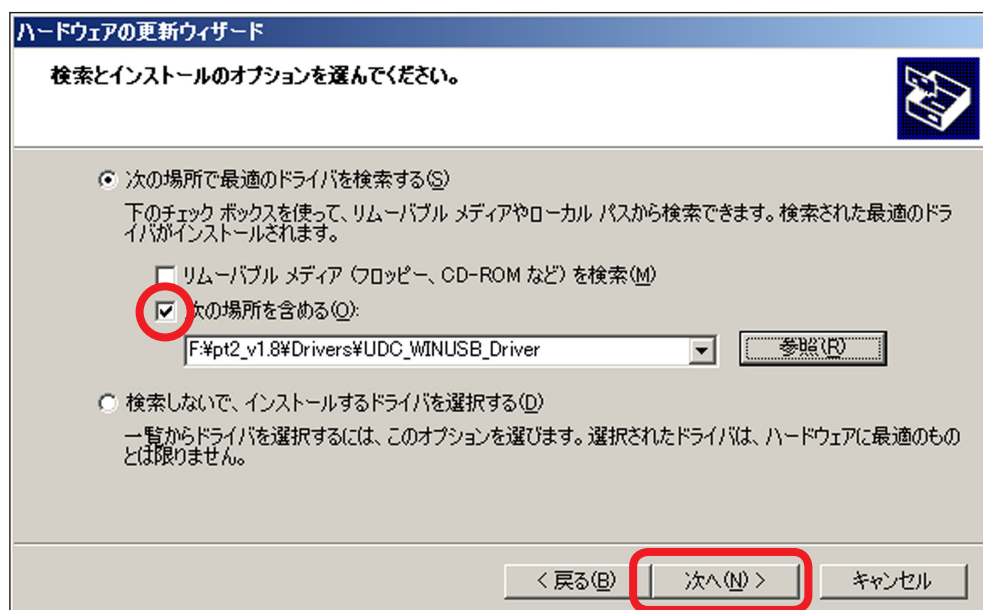
- 3 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し「次へ」をクリックします。



# 1 ドライバインストール(つづき)

4

「次の場所を含める」をチェックしドライバのある場所を選択後「次へ」をクリックします。  
(ZIP展開標準時は ¥pt2\_v1.8¥Drivers¥UDC\_WINUSB\_Driver になります。)



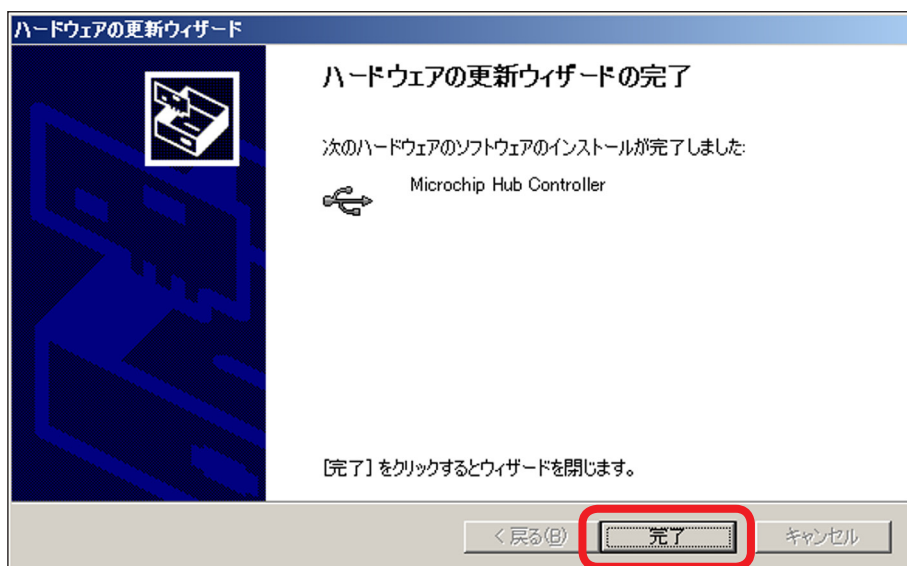
ドライバが選択されインストールされます。



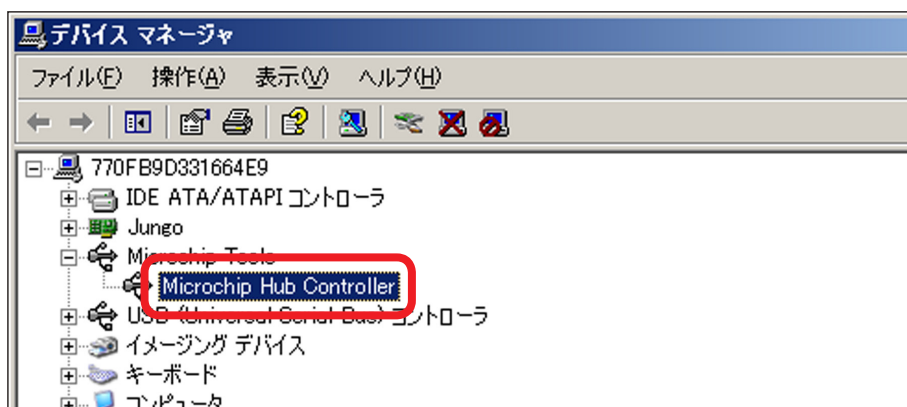
## 1 ドライバインストール(つづき)

5

インストールが完了すると下記画面が表示されますので、「完了」をクリックしウィンドウを閉じます。



正常にインストールされると下記のようにドライバが登録されます。



## 1 VCランタイムインストール

下記URLよりVCランタイムをダウンロードしてインストールします。

【URL】<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=48145>

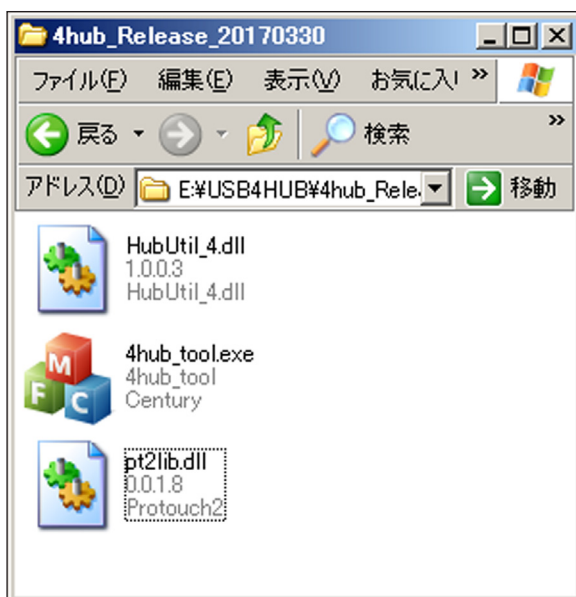
ダウンロードするファイルは以下を選択します(使用するOSのBit数には関係なく以下を使用します。)

「vc\_redist.x86.exe」

インストール方法はVCランタイムの指示に従ってください。

# 1 アプリケーションインストール

- 1.1 対応OS : Windows 10、Windows 8.1、Windows 7
- 1.2 USBデバイス接続制御設定ツール概要  
本ソフトを使用しReTRY HUBに接続したUSBデバイスの接続、切り離しを制御できます。  
**※注)製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。**
- 1.3 弊社ホームページのダウンロードサイトよりアプリケーションソフトをダウンロードします。  
【URL】<http://www.centech.jp>
- 1.4 ダウンロードした「USB4HUB201704.zip」(※)のファイルをダブルクリックします。  
※ダウンロードした時期によりファイル名は変わります。  
「USB4HUB201704.zip」ファイルの内容が表示されます。



任意のフォルダにコピーします。

下記ファイルは同じフォルダに入れてください。

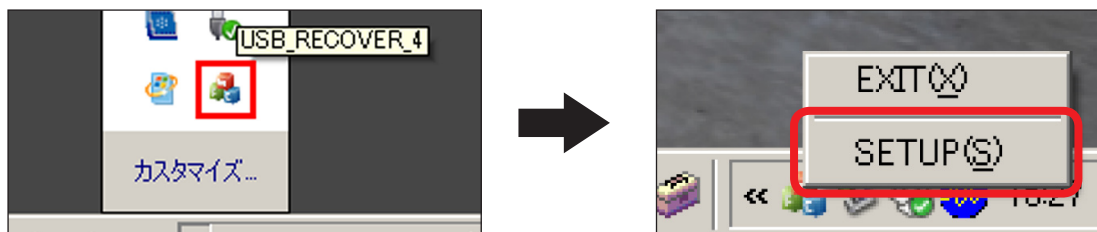
「4hub\_tool.exe」

「HubUtil\_4.dll」

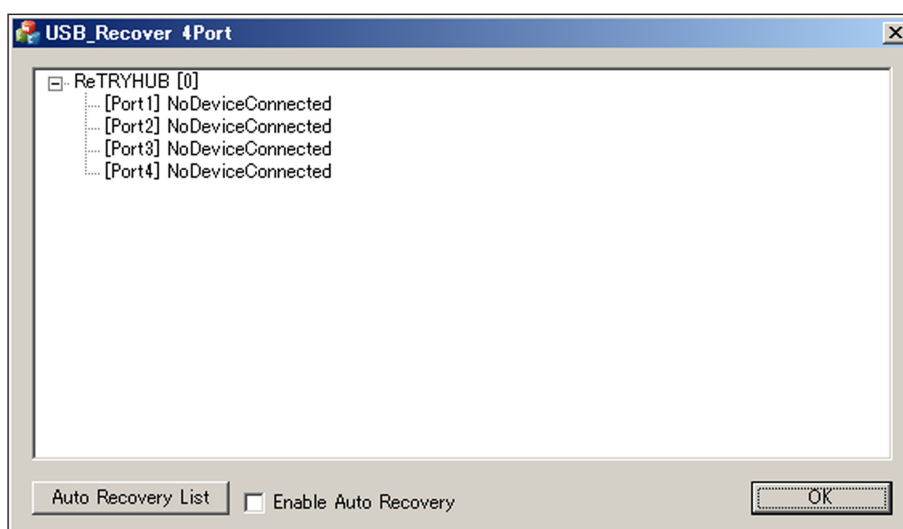
「pt2lib.dll」

## 2 アプリケーション起動と終了

- 2.1 「4hub\_tool.exe」を実行します。  
起動直後はタスクトレイの中に入っているため「USB\_RECOVER\_4」アイコン(左図赤枠)を右クリックし、「SETUP」を選びます。



- 2.2 USBデバイス接続制御設定プログラムが表示されます。



- 2.3 USBデバイス接続制御設定プログラムを終了する場合、「EXIT」を選択します。  
USBデバイス接続制御設定プログラムを終了しても、接続されたUSBデバイスの状態は引き継がれます。

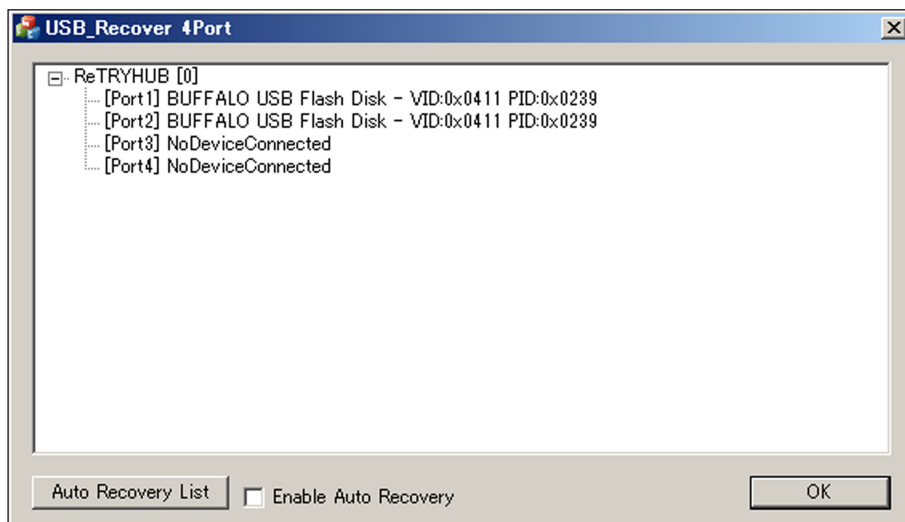
※注)USBデバイス接続制御設定プログラムを終了するとAuto Recovery機能は動作しません。



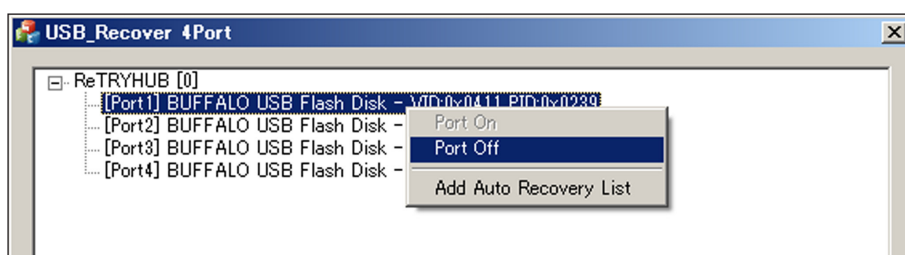


## 3 アプリケーション操作方法

### ■メイン画面



- ReTRY HUBが接続されていると、リストにReTRYHUB [0]と表示されます。  
[Port1]～[Port4] …… ReTRY HUBの各ポート番号  
NoDeviceConnected … 該当ポートにUSBデバイスが接続されていない or 該当ポートOff時  
USBデバイス名 …… 接続されているUSBデバイス名称  
VID …… 接続されているUSBデバイスのVID  
PID …… 接続されているUSBデバイスのPID
- [OK]をクリックすると、USBデバイス接続制御設定プログラム画面を閉じます。  
アプリケーションは終了しません。
- USBデバイス名を右クリックすると、「Port On」「Port Off」「ADD Auto Recovery List」のメニューが表示されます。



- 「Port On」をクリックすると、接続されているUSBデバイスがPCに接続されます。  
→ReTRY HUB上該当ポート番号のLEDが点灯します。
- 「Port Off」をクリックすると、接続されているUSBデバイスがPCから切断されます。  
→ReTRY HUB上該当ポート番号のLEDが消灯します。

※注) 該当USBデバイスの動作状況にかかわらず切断されます。

USBメモリやHDD等の場合データアクセス中にも切断されますので、データが破損する可能性があります。

※注) PCからの切断はVBUSの切断のみですので、セルフパワーのUSBデバイスの場合切断されない場合があります。

## 3 アプリケーション操作方法(つづき)

### ■「Port On、Off」状態について

- USBデバイス接続制御設定プログラムを終了しても「Port On、Off」状態は保持されます。
- PCの電源OFF or 再起動しても「Port On、Off」状態は保持されます。
- ReTRY HUBの電源を切ると「Port On、Off」状態は破棄され、全て「Port On」になります。

### ■「Add Auto Recovery List」について

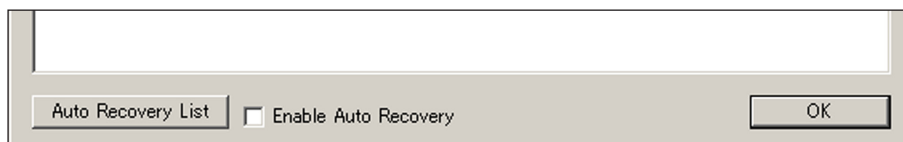
- クリックすると自動リカバリーリストに登録します。

### ■「自動リカバリー設定」について

- 動作概要：「Interval Time」で登録された秒数間隔でVID,PIDのデバイスを検索し、認識されていない場合はReTRY HUBの該当ポートをOFF(「Off Time」にて設定した秒数)ON(Reset)することで、デバイスの再接続をします。

※注1)セルフパワーのUSBデバイスはReTRY HUBで電源ON/OFFできませんので、  
再接続できない場合があります。

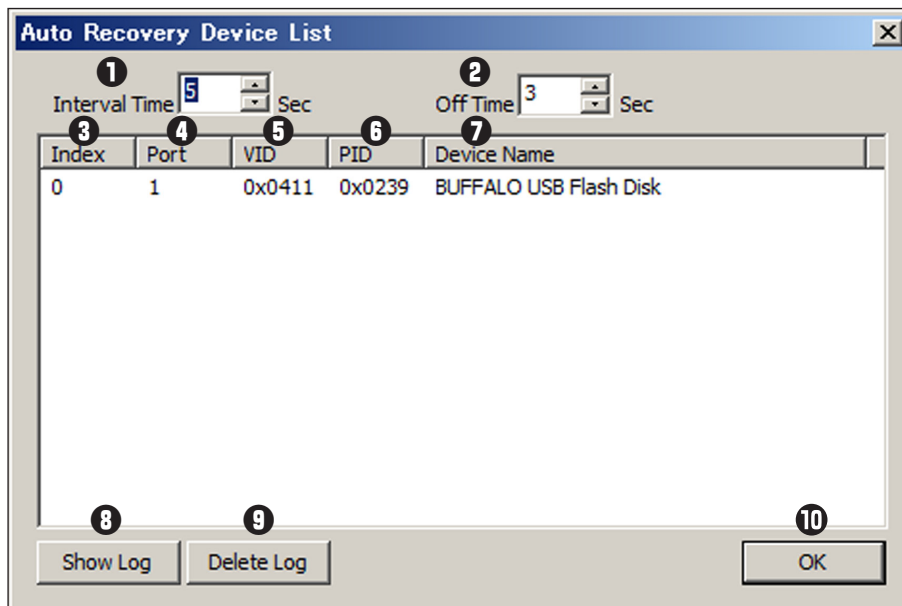
※注2)USBデバイスの故障による非認識については再接続はできません。



- 「Auto Recovery List」をクリックすると、自動リカバリー設定画面が表示されます。
- 「Enable Auto Recovery」にチェックを入れると、自動リカバリーが開始されます。

## 3 アプリケーション操作方法(つづき)

### ■自動リカバリ設定画面

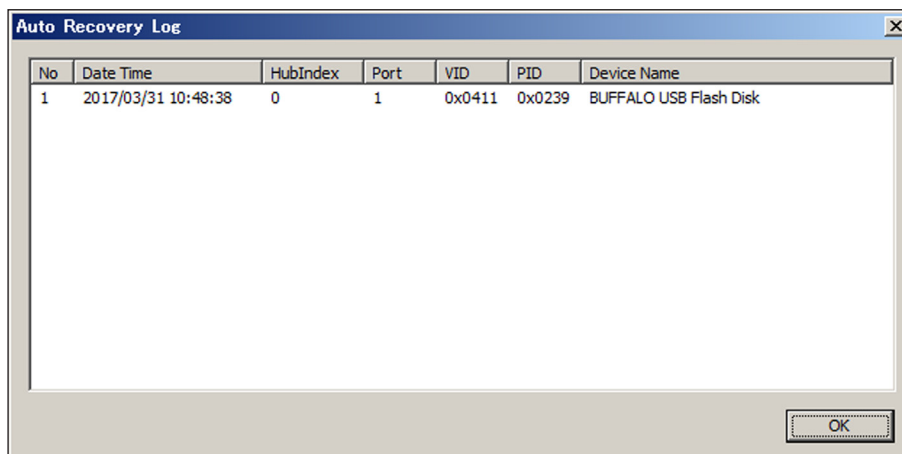


The dialog box titled "Auto Recovery Device List" contains the following elements:

- Interval Time**: A numeric input field with the value "5" and a unit of "Sec".
- Off Time**: A numeric input field with the value "3" and a unit of "Sec".
- Table**: A table with 5 columns: Index, Port, VID, PID, and Device Name. It contains one row with the following data:

Index	Port	VID	PID	Device Name
0	1	0x0411	0x0239	BUFFALO USB Flash Disk
- Show Log**: A button.
- Delete Log**: A button.
- OK**: A button.

- ❶「Interval Time」…… デバイスを検索する間隔を設定します(1～255秒、初期値：5秒)。
- ❷「Off Time」……… 監視するUSBデバイスが見つからなかった場合OFFONするOFF状態の秒数を設定します(1～255秒、初期値：3秒)。
- ❸「Index」……… 監視するUSBデバイスが接続されているReTRY HUB本体の番号。
- ❹「Port」……… 監視するUSBデバイスが接続されているReTRY HUBのポート番号。
- ❺「VID」……… 監視するUSBデバイスのVID。
- ❻「PID」……… 監視するUSBデバイスのPID。
- ❼「Device Name」…… 監視するUSBデバイス名称。
- ❽「Show Log」……… 自動リカバリログを表示します。



The dialog box titled "Auto Recovery Log" contains a table with the following data:

No	Date Time	HubIndex	Port	VID	PID	Device Name
1	2017/03/31 10:48:38	0	1	0x0411	0x0239	BUFFALO USB Flash Disk

An **OK** button is located at the bottom right of the dialog box.

監視するUSBデバイスが見つからずOFFONした場合ログに記載されます。  
ログファイルは「4hub\_tool.exe」があるフォルダ内に「hubutil.log」として保存されます。  
「OK」をクリックすると閉じます。

### 3 アプリケーション操作方法(つづき)

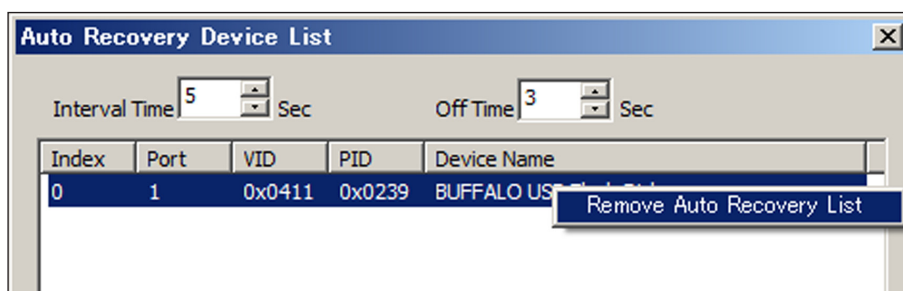
- ⑨「Delete Log」……………自動リカバリーログを削除します。



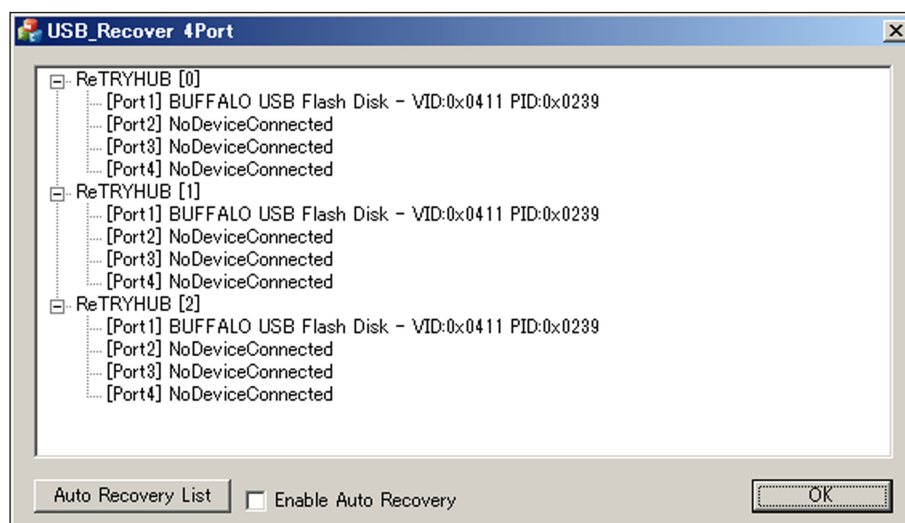
- ⑩「OK」……………自動リカバリー設定画面を閉じます。

#### ■「Remove Auto Recovery List」について

USBデバイス名を右クリックすると「Remove Auto Recovery List」が表示されます。  
選択したUSBデバイスをリストから削除します。



## 4 ReTRY HUB複数接続について



- ReTRY HUBを複数接続すると、ReTRYHUB [0]、ReTRYHUB [1]、ReTRYHUB [2]....と表示されます ([0]、[1]、[2]...はIndex番号)。
- 接続順についてはPCのUSBポートの優先順位によって決まり、指定はできません。
- 途中のReTRY HUBを外すとIndex番号がずれます。
- ReTRY HUBを追加してもPCのUSBポートの優先順位によって既存のReTRY HUBのIndex番号がずれる可能性があります。
- 自動リカバリー機能は、Index番号 (ReTRY HUB本体の番号…接続位置、ReTRY HUB本体接続数変更で変わる可能性あり) とPort番号 (ReTRY HUB上USBポート番号…1-4/不変) を元に接続の有無を判断するため、「Auto Recovery List」に登録した時点とReTRY HUBの接続構成が変わった場合、正しくデバイスの有無を判断できなくなる場合があります。  
その場合、「Auto Recovery List」を再度設定する必要があります。